科目ナンバリング							
授業科目名 <英訳>	ドイツ語 I A (演習) D1208 Primary German A			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 向井 直己		
群	外国語科目群		分野(分類)			使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(外国語)(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2025・前期	曜時限	火2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

簡単な読みもの・作文、ビデオ教材の使用などを通して、ドイツ語を話す人々の文化や思考法を知ることが目的とします。

[到達目標]

簡単なドイツ語のテキストを、辞書を引きながら読めるようになることを目標とします。単に文章の内容を理解するだけでなく、発音も含めた意味で「ドイツ語を読む」ことを重視します。

[授業計画と内容]

主として二つの点を目標に授業を進めていきます。
第一に、ドイツ語の読解、第二にドイツ語の作文です。
会話等で用いる基本的な表現等については、テキストに合わせて適宜解説します。

ドイツ語の読解については、講義中に(及び可能な範囲ではKULASISを通じて)課題テキストを配布します。
課題テキストは、主としてヘブライ語聖書(旧約聖書)の最新のドイツ語諸訳から採用する予定です。2018年度後期は『ヨナ書』の2017年度版ルター聖書を元に、難解な部分を適宜省略しつつ、初学者に合わせてテキストを改変したものを用います。可能であれば、『ヨナ書』の読解を終え、『コヘレト書(伝道者の書)』や『箴言』などの知恵文学に手を伸ばしたいと考えています。文法の授業と進捗を合わせつつ、難解な部分は適宜省略し、テキストの内容の基礎的な把握を目指します。

[1回目]

ガイダンス

[2~6回目]

第1章1節~第1章16節

[7~8回目]

第2章第1節~第2章第10節〔概説的な解説にとどめます〕

[9回目]

作文中間報告

[9回目~14回目]

第3章1節~第4章11節

(グループ課題のレポートは、14回目に提出してもらいます)

作文については、前期全体を通じてのグループ課題とします。履修登録が終了した時点で4-5人程度のグループを作り、中間発表(日本語で構いません)等を経ながら、ドイツ語圏の文化についてのレポートを作成してもらう予定です。

その他、適宜細かな課題を設け、ドイツ語作文についての留意点等を適宜確認します。

ドイツ語ⅠA（演習）D1208(2)

【履修要件】

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

【成績評価の方法・観点】

定期試験(40%)に、小テストや課題の評価(30%)、小課題や授業への参与等の平常点(30%)を加味して評価します。

【教科書】

使用しない

【参考書等】

（参考書）

原則として、文法の授業で用いる教科書を参考に用いますが、一定の参照枠としては、齋藤治之『コトバそしてドイツ語文法』（朝日出版社、2015）を指定します。また、編者・出版社は特に指定はしませんが、ドイツ語辞書は必ず必要になりますので、ご用意ください。電子辞書の利用は認めますが、スマートフォンアプリなどのインターネット通信可能な機器を用いるものについては、試験において持ち込みを制限することがあります。

【授業外学修（予習・復習）等】

課題テキストの（ヘブライ語からの）翻訳は、日本語においても各種ございますので、大まかな内容の理解のために、ご参照ください。また、英語を含む各国語訳聖書を参照していただくのも、助けになると考えます。

【その他（オフィスアワー等）】

【主要授業科目（学部・学科名）】